



成瀬ダム堤体打設工事 工事だより [第8号]

【発行元】 2020年6月発行
 鹿島・前田・竹中土木JV 成瀬ダム堤体打設工事事務所
 〒019-0803 東成瀬村椿川字立石30-1
 TEL: 0182-23-5185 WEBサイトはこちら
 FAX: 0182-23-5186 (担当: 松村) www.narusedam.jp



工事に関してご不明な点がございましたら、お気軽にお電話ください。

いよいよ今月からCSG打設がスタートします！



ダムサイト全景（下流より）2020年5月撮影

工事概要

工事名 成瀬ダム堤体打設工事(第1期) 6/3 安全大会・安全祈願
 発注者 国土交通省東北地方整備局成瀬ダム工事事務所 6/4 安全大会(密集回避のため複数回開催)
 工事場所 秋田県雄勝郡東成瀬村椿川地内 6/16 JV構成会社合同パトロール
 水系 1級河川 雄物川水系成瀬川 6/25 安全衛生委員会・災害防止協議会
 地質 緑色凝灰岩・凝灰角礫岩・凝灰質泥岩 6/30 職長会パトロール
 工期 2018年5月9日～2022年12月9日
 (1,675日、約55ヶ月)
 ダムの目的 洪水調整(F)・流量機能維持(N)・農業用水の補給(A)
 水道用水の供給(W)・発電(P)

今後の予定

6月1日現在の人数 元請職員 78人
 作業員数 359人
 合計 437人

工事 現況写真



左岸（施工状況）
2020年5月撮影



右岸（施工状況）
2020年5月撮影

現況報告

6月2日、関係各位の立ち会いの下、CSGの初打設を行いました。ダム堤体の打設がいよいよ始まり、現場作業も更なる繁忙が予想されますが、今後も所員一丸となって安全に工事を進めて参ります。また、5月中旬から、週末にJV事務所前に稲庭うどんの有名店「佐藤養助商店」の移動販売車が来てくれました。外出自粛の中、佐藤養助商店の稲庭うどんが食べられるということで、宿舎で生活する職員・作業員はもちろん地元の方にも大好評です。



【CSG初打設（2020年6月）】
ダム堤体打設の一步を踏み出しました



【清掃ボランティア（2020年5月）】
東成瀬村建設業協会のボランティアに
奈須野所長ほかJV職員が参加



【佐藤養助商店の移動販売車（2020年5月）】
色鮮やかな移動販売車の前に行列ができました

ご挨拶

統括副所長の神戸 隆幸（かんべ たかゆき）と申します。4月から着任しており、前任の伊藤からバトンを引き継ぎました。各グループ間の調整や問題解決をはじめ、複合的観点による工事全体の管理が仕事です。私は入社してから今まで5か所（北海道、大分、新潟、埼玉、千葉）でダムの施工に携わり、北海道では世界初の台形CSGダムである当別ダムを担当しました。台形CSGダムは世界でも事例の少ない工法ですが、日本国内で5番目となる成瀬ダムは世界最大規模です。今後も様々な困難が立ちはだかると思いますが、台形CSGダムの経験と鹿島の次世代建設生産システム「A⁴CSEL（クワッドアクセル）」をはじめとした様々な最先端技術を駆使して、世界が注目するこの成瀬ダムを完成させたいと思います。地元の皆様からも日頃から多大なご支援ご協力を頂いていると伺っています。私もこれから地元行事等に積極的に参加しますので、皆様のお声を聞かせて下さい。



鹿島・前田・竹中土木
 特定建設工事共同企業体
 成瀬ダム堤体打設工事事務所
 統括副所長
 神戸 隆幸（鹿島建設）

工事2グループ長の上本 勝広（うえもと かつひろ）です。私は鳥取と大分の2か所でダムの施工に携わり、現場以外では、技術研究所で土質や地盤の研究を行ってまいりました。東成瀬村には一昨年の6月から来ております。不慣れな雪との戦いには難儀しましたが、地元の方々からご助言をいただき、無事に越冬できました。改めて御礼申し上げます。技術研究所では、地盤改良工法の品質確保に関する実験や現場支援を行ってまいりましたので、これらの経験を活かして地域の皆様に安心してもらえるようなダムを造りたいと思っております。私が担当する工事2グループは、CSG打設の準備作業として基礎掘削作業等を主として進めて参りましたが、今月いよいよCSG打設がスタートし、堤体作りが本格化していきます。より一層気を引き締め、安全第一で施工してまいりますので、ご支援ご協力の程よろしくお願ひします。



鹿島・前田・竹中土木
 特定建設工事共同企業体
 成瀬ダム堤体打設工事事務所
 工事2グループ長
 上本 勝広（鹿島建設）